

野川自然の会 モニタリング部会 昆虫班 令和元年(2019)年度昆虫類モニタリング報告

令和2年(2020)年度5月 総会用資料

1. 実施内容

1) 令和元(2019)年度は、昨年までと同様トンボ類を中心としたルートセンサス調査を実施した。実施した内容は昨年度から継続した。その他の昆虫類についても記録した。自然再生事業地「野川自然の里」内の第一調節池低地域をA(越流堤付近、ため池周辺)・B(中央草地)・C(田んぼ・どじょう池・湿地付近)の3地点に分け、基本的に溜池付近から、北側側溝溜池沿いに、どじょう池水路を経て、深池・湿地・田んぼまでの左右幅2.5m(計5m)を調査対象地域とした。確認法は目視、および捕獲によった。トンボ類については種・雌雄・個体数も記録した。

2) その他の昆虫類についても、目視・採集できたものについて記録した。

3) 実施日

令和元(2019)年5月25日：第70回目
 令和元(2019)年6月：第71回目 ※実施なし
 令和元(2019)年7月13日：第72回目
 令和元(2019)年8月24日：第73回目
 令和元(2019)年9月19日：第74回目
 令和元(2019)年10月20日：第75回目
 令和元(2019)年11月15日：第76回目

2. 結果

1) 今年度調査ではトンボ類の確認種は11(12)種となった(表1：表中では、未同定・不明種を合計した数を括弧内で表記している。その他の昆虫記録については表2を参照。

2) 調査結果から

〈トンボ類について〉

今年度の確認数は11(12)種で、昨年度の15種に比べ4(3)種少なかった。

野川流域で期待したミヤマアカネの記録はなかった。7月13日の調査では9種を確認。東京都レッドデータ北多摩地区(以下、「都」とする)で絶滅危惧Ⅱ類(VU)に当たる、流水性のオナガサナエを確認した。水生生物調査時に野川本川で幼虫が確認できた種であり、自然再生事業地内で定着している。11月15日の調査ではオオアオイトトンボを確認できた。

今年度の秋台風19号後、令和2年2月末まで「半湿地」に水が溜まっており、イトトンボ科、クロスジギンヤンマ、またそれらの食物となるユスリカ科の幼虫が確認できた。この水域は3月上旬には消失してしまったが、このような一時的な水域であっても利用する生物がいることが確認できた。

※令和2(2020)年4月11日に、とんぼ田んぼにおいてホソミイトトンボの越冬春型オスを2匹確認した。これは分布が北上しているとされる種で、平成30(2018)年度調査で1個体確認している。

〈その他昆虫について〉

その他の昆虫では、キンヒバリ：都・情報不足(DD) ショウリョウバッタモドキ：都・絶滅危惧Ⅱ類(VU)が確認できた。ショウリョウバッタモドキについては、昨年度同様「野川自然の里」のほぼ全域に分布を広げているようである。A、B、C区全体での確認が得られているが、A区域で多く見られた。C区域で保護されていたオギ群落よりも、外来植物のメリケンカルカヤ群落を好んでいるような印象があった。これについては、次年度検証してみたい。

3. 「野川自然の里」において確認したハエ類について

1) ニノミヤトビクチミギワバエ

11月22日の調査時に、とんぼ田んぼの水面において、小型のハエ類を採集した。体長は3.5mm。標本化し、双眼実体顕微鏡下にて確認し、翅の翅脈相、頭部の毛の配置などからミギワバエ科と判断した。その後、写真撮影したものを双翅目談話会会員笹井剛博氏に最終同定をお願いした結果、ニノミヤトビクチミギワバエ (*Brachydeutera ibari*) であろう、との回答をいただいた。

田んぼなどの止水域によくみられ、別名をミズバエともいう。調査時は、畦際の水面に浮いている個体を多く確認した。

2) ニクバエ科について

調査期間を通して、何度かニクバエ科を記録している。

ニクバエ科は、灰色の背面に黒状線が三本入ることから他のハエ類と大まかに区別できるが、現地確認ではニクバエ科までで記録が止まってしまう。種の同定は顕微鏡下で生殖器を確認しなければならない。

10月20日の調査時にニクバエ科オスを1個体採集した。標本化し、手持ちの標本と比較した結果ナミニクバエと判明した。

3) 調査地域のハエ類相

「野川自然の里」においては、このほかクロバエ科のトウキョウキンバエなども記録されている。調査時以外でも、オビキンバエ類など多くのハエ類が確認できる。目立たない存在であるが、ハエ類は小動物の食物となり、ヤドリバエ科などのように、他の昆虫類に寄生する種もいる。また、生物の死骸を分解し土壌に戻すなど自然再生事業地の生物多様性の一部を担う存在である。

これらについても今後、少しずつ知見を増やしていきたい。

文責：高橋利行

自然再生事業 野川自然の会 モニタリング部会

昆虫担当班・令和元(2019)年度トンボ類ルートセンサス調査記録

凡例:不=雌雄不明 (未)=未成熟個体

表1 モニタリング記録 トンボルートセンサス

科名	種名	5月25日		2019/6/調査なし		7月13日		8月24日		9月19日		10月20日		11月15日	
		♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
カワトンボ	ハグロトンボ		0			1									0
アオイトトンボ	オオアイトトンボ		0		0									1	1
イトトンボ	アジアイトトンボ	1	1		0	8	3	11	1	10	3				0
サナエイトトンボ	オナガサナエ		0		0	1		1							0
ヤンマ	ギンヤンマ		0		0			0	1						0
トンボ	シオカラトンボ	1	1		0	3	1	4	13	3					0
	オシオカラトンボ		0		0	2		2							0
	シヨウジョウトンボ		0		0	2		2							0
	アキアカネ		0		0	4	6	10			3	3	6	9	5
	コシアキトンボ		0		0	1	1	2							0
	ウスバキトンボ		0		0	1		23	27		28	28			0
	不明アカネ類		0		0			0			3	3	1	1	0
種数/個体数	11(12)種	2種	0種	0種	0種	9種	4種	45種	3(4)種	50種	15種	1種	1種	1種	1

- 6月は次測となった
- 7月調査時にはオナガサナエが確認できた
- 今シーズンは、ミヤマアカネが確認できなかった
- 11月調査時は、オオアイトトンボが確認できた

表2 トンボ類4種の記録

種名	5/25	7/13	8/24	9/19	10/20	11/22
シオカラトンボ	1	0	3	13	0	2
ミヤマアカネ	0	0	0	0	0	0
アキアカネ	0	0	4	0	3	9
マユタテアカネ	0	0	0	0	0	6

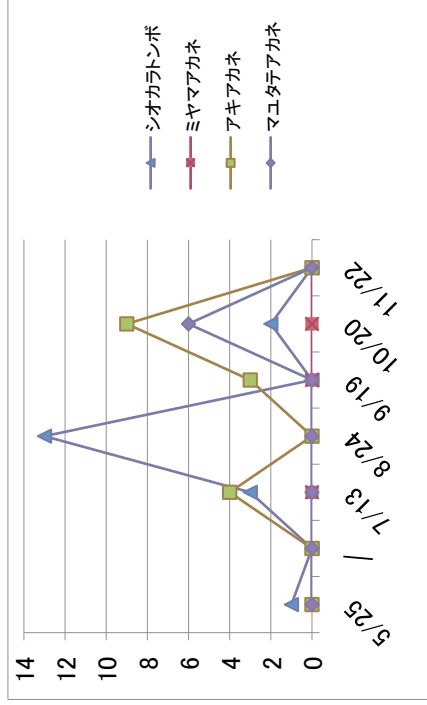


図1 トンボ類4種の毎月の推移

2019年度野川自然の里昆虫モニタリング記録(5月～11月:月1回)

第一調節池低地内をA、B、C区域に分けて調査実施

目名	科名	種名	A	B	C	備考	
トンボ	カワトンボ	ハグロトンボ			●		
	アオイトトンボ	オオアオイトトンボ			●		
	イトトンボ	アジアイトトンボ	●	●			
	サナエトンボ	オナガサナエ			●	都・北多摩NT	
	ヤンマ	ギンヤンマ	●				
	トンボ	アキアカネ			●	●	
		ウスバキトンボ	●	●	●		
		シオカラトンボ	●	●	●		
		オオシオカラトンボ	●		●		
		ショウジョウトンボ			●		
		コシアキトンボ	●				
	アカネ類の一種	●					
ゴキブリ	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ			●		
カマキリ	カマキリ	コカマキリ			●		
		オオカマキリ	●	●	●		
バッタ	キリギリス	ヤブキリ	●	●	●		
		コバネヒメギス	●		●		
		クサキリ	●	●	●		
		クビキリギス	●	●	●		
		ホシササキリ	●	●			
		ウスイロササキリ			●		
	ツユムシ	ツユムシ	●	●			
	コオロギ	エンマコオロギ	●	●	●		
		モリオカメコオロギ	●	●	●		
		ハラオカメコオロギ	●	●	●		
		ツヅレサセコオロギ		●			
	マツムシ	アオマツムシ			●		
	ヒバリモドキ	キンヒバリ			●		
		クサヒバリ			●		
		マダラスズ	●	●			
		シバズ	●	●			
	ケラ	ケラ	●		●		
	ヒシバッタ	トゲヒシバッタ	●				
		ハラヒシバッタ			●		
	オンブバッタ	オンブバッタ	●	●	●		
	バッタ	ツチイナゴ				●	
		ハネナガイナゴ	●	●	●		
		コバネイナゴ	●	●	●		
		ショウリョウバッタ	●	●	●		
		ショウリョウバッタモドキ	●	●		都・北多摩NT	
		ヒナバッタ	●	●	●		
		マダラバッタ			●		
		クルマバッタモドキ	●	●			
	チャタテムシ	チャタテ	クロミヤクチャタテ		●		
	カメムシ	ウンカ	ゴマフウンカ		●		
アオバハゴロモ		アオバハゴロモ		●			
ハゴロモ		ベッコウハゴロモ			●		
ゲンバイウンカ		ヒラタゲンバイウンカ			●		
セミ		クマゼミ		●	●		

カメムシ

	アブラゼミ	●	●	●		
	ツクツクボウシ	●	●	●		
	ミンミンゼミ	●	●			
	ニイニイゼミ	●	●	●		
アワフキムシ	ハマベアワフキ			●		
ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	●	●	●		
	オオヨコバイ	●	●			
アブラムシ	セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ			●		
サシガメ	アカサシガメ		●			
ゲンバウムシ	アワダチソウゲンバイ	●	●	●		
	ゲンバウムシ科の一種			●		
カスミカメムシ	ハギメンガタカスミカメ		●			
ホソヘリカメムシ	ホソヘリカメムシ		●	●		
ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ	●	●	●		
	ハリカメムシ	●	●			
	ホシハラビロヘリカメムシ			●		
ナガカメムシ	ヒゲナガカメムシ	●	●			
メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ			●		
カメムシ	ウズラカメムシ	●	●	●		
	ブチヒゲカメムシ		●			
	ハナダカカメムシ			●		
	キマダラカメムシ		●	●		
	ナガメ	●	●	●		
	エビイロカメムシ			●		
	チャバネアオカメムシ			●		
	イネクロカメムシ			●		
マルカメムシ	マルカメムシ			●		
アメンボ	アメンボ	●	●	●		
カタビロアメンボ	カタビロアメンボ科の一種			●		
チョウ	イラガ	●			繭	
	セセリチョウ	ダイミョウセセリ		●	●	
		ギンイチモンジセセリ	●	●	●	
		コチャバネセセリ		●		
		キマダラセセリ			●	
		イチモンジセセリ	●	●	●	
		チャバネセセリ			●	
		不明セセリチョウ類の一種			●	
	アゲハチョウ	ナミアゲハ		●	●	
		アオスジアゲハ		●	●	
	シロチョウ	キタキチョウ	●	●	●	
		モンキチョウ	●	●	●	
		モンシロチョウ	●	●	●	
	シジミチョウ	ベニシジミ	●	●	●	
		ウラナミシジミ		●	●	
		ヤマトシジミ	●	●	●	
		ツバメシジミ	●	●	●	
	タテハチョウ	テングチョウ		●		
		ツマグロヒョウモン		●	●	
		キタテハ	●			
		アカボシゴマダラ			●	
		ヒメジャノメ		●		
		クロコノマチョウ		●		

チョウ		ヒメウラナミジャノメ	●	●	●		
	トリバガ	トリバガ科の一種			●		
	ツトガ	シロオビノメイガ	●	●	●		
	シャクガ	ヨモギエダシャク		●			
	スズメガ	ホシホウジャク	●				
	ヒトリガ	カノコガ		●	●		
	ドクガ	キアシドクガ	●	●	●		
	ヤガ	アシブトクチバ			●		
		ギンスジキンウワバ	●				
		アオアツバ			●	●	
オオウンモンクチバ				●			
ヤガ科の一種B		●					
ハエ	ガガンボ	ガガンボ科の一種	●	●			
	カ	カ科の一種	●				
	ムシヒキアブ	アオメアブ	●				
		チャイロムシヒキ	●	●	●		
		ナガトミヒメムシヒキ	●				
	タマバチ	クヌギハケタマバチ			●	虫こぶ	
	ハナアブ	ホソヒラタアブ			●		
		キゴシハナアブ			●		
		アシブトハナアブ	●			●	
		スイセンハナアブ	●	●			
		ツヤヒラタアブ属の一種	●				
		ヒメヒラタアブ類の一種	●				
	ミギワバエ	ミナミカマバエ	●	●	●		
		ニノミヤトビクチミギワバエ				●	
	クロバエ	オオクロバエ			●		
		トウキョウキンバエ				●	
		ツマグロキンバエ	●	●	●		
		キンバエ類の一種	●	●			
	ニクバエ	ナミニクバエ	●	●			
		ニクバエ科の一種	●	●			
	ヤドリバエ	ヤドリバエ科の一種	●		●		

コウチュウ	ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ	●				
	オサムシ	オサムシ科の一種			●	ゴミムシ類	
	ハネカクシ	アオバアリガタハネカクシ		●			
	コガネムシ	セマダラコガネ				●	
		コアオハナムグリ	●	●	●		
		マメコガネ	●	●	●		
		シロテンハナムグリ	●				
	コメツキムシ	コメツキムシ科の一種			●		
	ジョウカイボン	セボシジョウカイ	●				
	テントウムシ	ナナホシテントウ	●	●	●		
		オオニジュウヤホシテントウ			●		
		ナミテントウ			●		
	カミキリモドキ	モモブトカミキリモドキ		●			
	カミキリムシ	キクスイカミキリ			●		
	ハムシ	ウリハムシ	●	●	●		
		クロウリハムシ			●		
		ヨモギハムシ	●				
		ヤツボシハムシ			●		
		ヤマイモハムシ			●	●	
		クロルリトゲハムシ			●	●	
		ツツハムシ亜科の一種			●		
	ゾウムシ	コフキゾウムシ			●	●	
		オジロアシナガゾウムシ				●	
クチブトゾウムシ類の一種				●			
ハチ	ミフシハバチ	ルリチュウレンジ		●			
	ヒメバチ	ヒメバチ科の一種	●				
	アリ	アミアリ			●		
		クロヤマアリ	●		●		
		トビイロケアリ	●		●		
	ドロバチ	ミカドツクリバチ	●	●			
	スズメバチ	フタモンアシナガバチ	●				
		セグロアシナガバチ	●	●			
		コアシナガバチ			●		
		コガタスズメバチ	●	●			
	キイロスズメバチ			●			
	クモバチ	オオモンクロクモバチ		●	●		
	ツチバチ	キンケハラナガツチバチ		●	●		
	アナバチ	コクロアナバチ			●	●	
		アメリカジガバチ			●		
		クロアナバチ	●	●			
	コハナバチ	アオスジハナバチ	●		●		
	ミツバチ	トラマルハナバチ			●		
		セイヨウミツバチ	●	●	●		
		ヒゲナガハナバチ類の一種	●	●	●		
—	小型ハナバチ類の一種	●					
10	80(81)	179	92	106	112		



1. オナガサナエ(7/13)



2. アキアカネ(11/15)



3. コバネヒメギス(7/13)



4. ショウリョウバッタモドキ(8/24)



5. ハナダカカメムシ(5/25)



6. ギンイチモンジセセリ(7/13)



7. アオスジハナバチ(7/13)



8. 調査風景(7/13)



9. ニノミヤトビクチミギワバエ翅脈(11/15)



前縁脈Cに二箇所の切れ目

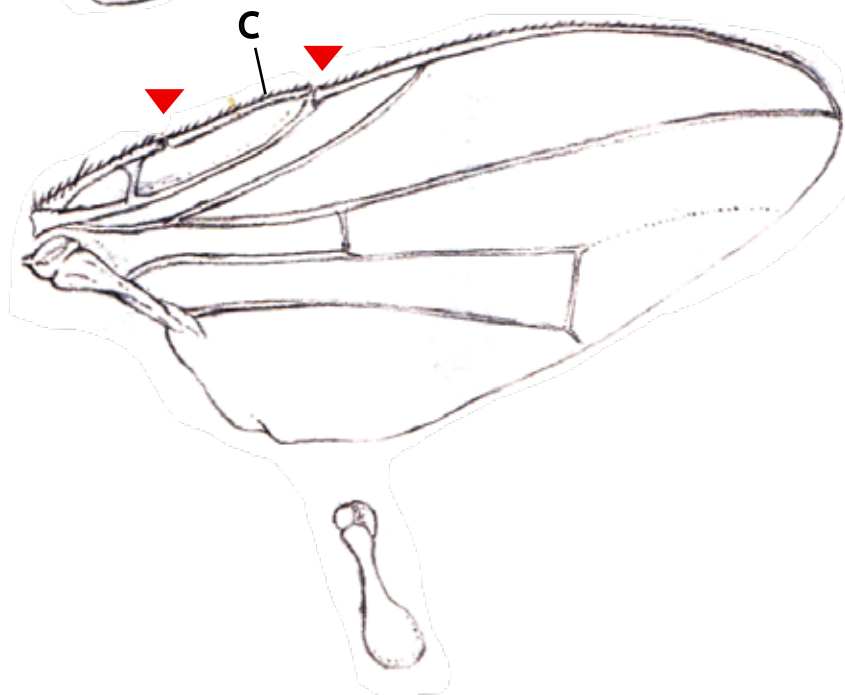


図 ニノミヤトビクチミギワバエ頭部・左前翅裏面